臺灣日日新報
本日夕刊共四頁

行政機構を全面刷新

軍需省など三省開廳

關係勅令案けふ公布

【東京電話】政府は世界戰局の動向と大東亞建設の現段階に應じ國政を一新して…

首相の權限擴大

廢止は十三局六所

二部四局二所を新設

勅令案廿五件可決

樞密院臨時本會議開催

【東京電話】樞密院では三十一日午前十時より天皇陛下御親臨の下に宮中に臨時本會議を開催…

可決の官制廿五件

司法省

初代大臣けふ發令

內務省

開廳の農商省機構

官房ほか九局で編成

運輸通信省の機構

地方行政一部改革

軍需省官制

第一條　軍需大臣は左の事務を管理す

運輸通信省と通信院官制

運輸通信省官制

儼然不動、戰爭を完遂

内外の禍根を芟除

畑派遣軍總司令官談

ボース氏きのふ來朝

帝國政府の協力に謝意

情報局發表

內閣辭令【東京電話】

通信院官制

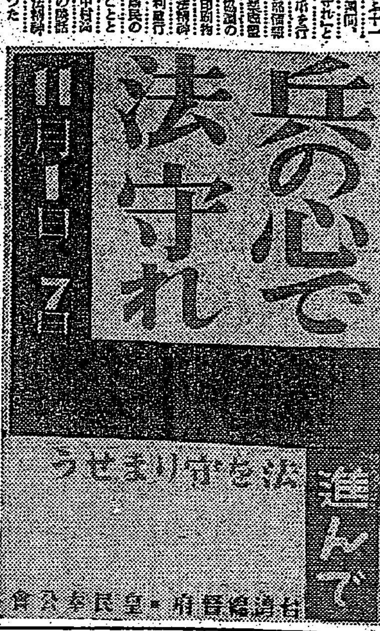
農商省官制

勝つための理想の國
民貯蓄
富國徵兵
勝

遵法週間

兵の心で法守れ

法を犯すは利敵行為



遵法精神は愛國精神の發露

「遵法精神徹底」

國家の基を固む礎

稻田法務部長談

國家の目的に副ふべし

司法記念日と遵法週間

司法に對する協力が必要

經濟體制の强化へ

島民の戒肅を望む

高等法院檢察官長　中村八十一氏談

凡そ犯罪

"吾子よ後れるな……

内地へ向け激勵電報"

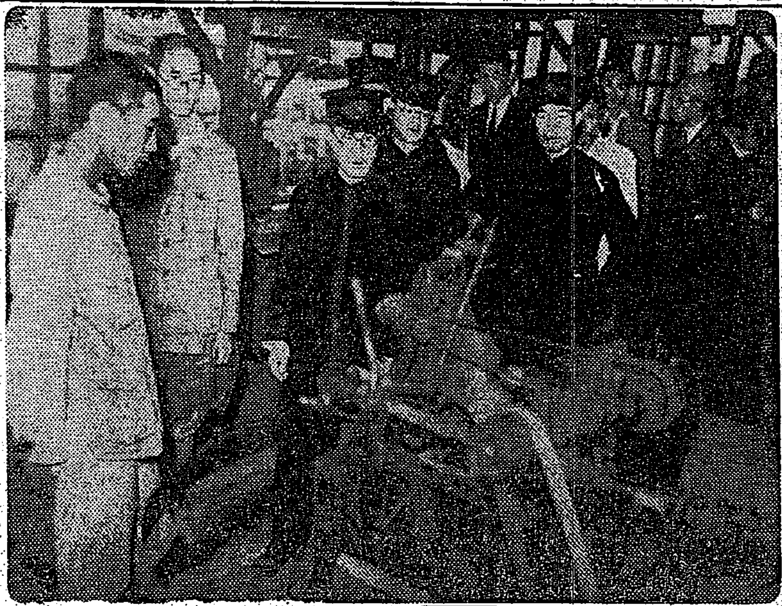
陸軍特別志願兵へ　父兄の懇談會

父母に送る"決意"

覺悟は十分

在京の學徒永田俊雄君

學徒に注意



常在戰場の意氣

醫藥品の淸純供給

藥事法本日公布

警務局長談

皇軍感謝慰問金

十一月末まで募集を延期

十月一日以來島内日刊六社で募集中の大東亞戰下第二回目の皇軍將兵に對する感謝慰問金は島民各位の赤誠に依り連日申込相踵ぎ相當成績を擧げてゐるますが手續き其他の關係上入金の遲れてゐるものも相當にあり、尙今後陸續申込ある情勢に鑑み、又此の際島民各位の感謝感激を洩れなく反映して頂く爲めに日刊六社申合せの上關係當局の諒解を得て募集期間を十一月三十日まで一箇月間延期することに決定しましたから何卒奮つて御協力御申込あらんことをお願ひします。

粟井知事　工員を激勵

消費節約物資活用週間

淋巴腺結核（るいれき）

「療養」專門藥が好適です！

弱い方には

ヨイコドモ　赤誠の獻金

衣服街頭移動展

臺北市の日どりと場所

燐寸は けふから配給になる

燐寸割當量

十一月—十二月

基隆劇場

ドイツ魂

今日の映畫

大世界　台劇　新世界　芳乃館　芳明館　城内映畫劇場　萬華劇場　太平館　第三世界　中央劇場　基隆世界館　旭劇場　大和劇場　羅東座　宜蘭座　昇平座

東亞同盟映畫

本日休館

第拾期決算公告

新竹の映畫　新竹劇場　有樂館

臺日案内

民事、刑事、法律事務
辯護士　古山春司郎
事務員　林
臺北市南門町三ノ三
電　九六七五番

謹告

拜啓各位愈々御清穆の段奉慶賀候偖て弊組儀先代に依り明治二十九年當臺灣に於て土木建築業開始以來將に四十有八年此の間大過なく御蔭を以て業績逐日隆昌に赴き事業を經營し得たるは偏に大方皆樣の絕大なる御庇護御支援の賜に外ならず深く感銘罷在候茲に謹みて厚く御禮申上候然に時局下我業界に課せられたる使命の重大なるに鑑み今般弊組の組織を變更し株式會社田村組を設立仕り不肖社長に就任澤井一郎を支配人とし其從前の組員を夫々社員と爲すの外新たに前臺南州技師住谷茂夫を工務部長として招聘陣容の整備强化を圖り一層事業の擴張進展に遺憾なきを期し益々職域御奉公に專念可致覺悟に御座候間今後不相變御愛顧御用命賜り度奉懇願候
右乍略儀以紙上御挨拶申上度如斯に御座候
昭和十八年十一月一日
臺北市末廣町一丁目十八番地
田村組　田村作太郎
株式會社田村組取締役社長　田村作太郎
各位

石堂洋裁學院
五週年記念作品展示會
會場　於榮町菊元百貨店五階
會期　十一月二日・十一月三日

父開南工業學校教諭勳八等福山虎吉儀病氣療養中ノ處十月二十一日午前六時逝去候間此段謹告仕候
追而葬儀ハ十一月一日午後四時三橋町葬儀堂ニ於テ佛式ニ依リ執行可仕候
男　福山勝次
孫　福山太郎
妻　福山信ル
　　米澤ツ
　　石渡増市
親族代表　松崎達夫
友人代表　佐多萬之助
　　　　　大澤德之進則

會葬御禮　秋山清次

會葬御禮　伊勢八重

（夕刊）臺灣日日新報　十一月二日

山崎氏（農商大臣）八田氏（運輸通信大臣）
軍需相は首相兼任
けふ親任式御擧行

寫眞は上、山崎農相、中、東條兼任軍需相、下、八田運輸通信相

【東京發】軍需省始め運輸通信省、農商省の新設三省は官制公布を俟つて一日より發足したが、これに伴ふ三省初代大臣の親任式は一日午前十時半より宮中鳳凰ノ間において天皇陛下出御の下に擧行せられ、小泉厚相侍立して先づ東條兼攝軍需相の親任式が行はれ、續いて東條首相侍立して八田遞信相の運輸通信大臣、山崎農相の農商大臣の親任式が擧行され、內閣より左の如く發令された

情報局發表　本一日午前十時三十分親任式を行はせられ左の通り發令せらる

任農商大臣　正三位勳一等　山崎達之輔

兼任軍需大臣　內閣總理大臣兼陸軍大臣陸軍大將正三位勳一等功二級　東條英機

任運輸通信大臣　正三位勳一等　八田嘉明

三省次官も決る

任農商次官（一等）　農林次官　石黒武重

兼任軍需次官（一等）　國務大臣　岸信介

任運輸通信次官（一等）　男爵　飯田精太郎

軍より軍需省へ轉任に關する勅令

開廳三省の初會合

官廳の決戰行政整ふ

文教行政の基礎確立
八局を六局に簡素化

內閣印刷局は大藏省へ移管

厚生省の機構整備
國民動員、健民に重點

企畫院の廢廳式
東條首相功績讃ふ

東條首相訓示要旨

次官の下に總局長官
各省官制の改正要點

防空總本部官制

大藏省の機構改革
十局制を七局に改む

各官廳の人事發令

大藏省

二財務局長任命

防空總本部長官は內相兼任

防空總本部

大東亞省

厚生省

技術院辭令

內閣に參事官制新設

高試は本年度停止

大東亞の政治的骨組
重光外相談　一應は完成した

菊池中佐、影井中尉
一日附て進級

菊池大佐

影井大尉

本島同胞　徴兵制度本決り

企業整備本部新設

華中鹽業等を中國側に移讓

史上無類・型破り
日華新條約の性格

華北の敵產返還式

翻然悔悟せよ
抗戰地區に飛電
新民會

米の炭坑罷業擴大
ル狼狽・最後通牒

米陸軍地上部隊再編

道義で條約を運營
條約調印の喜びを語る
谷大使

人事

赤誠の二十六萬圓

十月中 軍司令部への獻金品

赤誠の三萬圓

基隆市民の献 兵號献納資金

府展の入場

傷痍軍人優遇

「征けよ兵、たゞ一筋に」

新竹保護者懇談會の 激勵電報

草馬拂下げ

決戰へ長袖を断つ

日婦高雄支部 支會長會議

猛訓練強行軍

新竹州警察官

婦人百萬總襷

◇硬貨を供出致しませう

◇闇絶滅に協力しませう

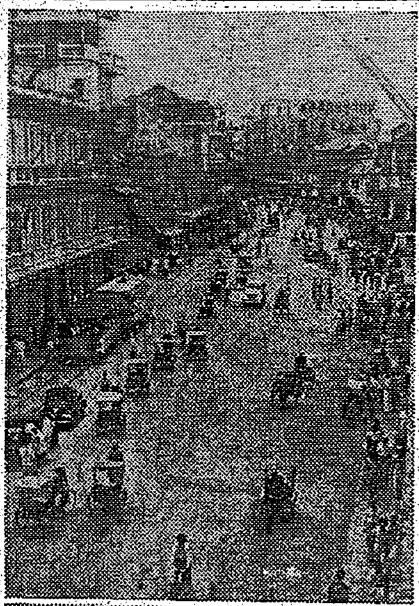
今夜・婦人總常會

大藏省からご褒美

"硬貨回收"に特別手當

郵便爲替振替貯金の料金等

が一日から改正されました



感激する千五百名

交換船帝亞丸昭南入港

戰爭保險

條件がよくなる

【申合事項】

婦人產業戰士を表彰に決定

硬貨

戰時下の正直生活 〔座談會〕 (二)

臺所とお野菜

話題に上る行商人の問題

出席者（順不同）

在佛印日本文化會館

綜合的文化研究機關

明治節

花蓮港の奉祝

日章旗田圃にヘンポン

共同收穫に凱歌

員林郡 生產增强奉公實踐隊

新興の息吹

泰の躍進明最

「吼えろ支那」 米英の非道發く

演劇島都榮座で上演

臺北國語家庭 認定章交付式

好成績を示す

基隆の適齡者體力檢查

武道に武道章設く

全九州武道大會に出席 藤沼氏語る

草刈奉仕

青年團報道挺身出動

臺北市國民校の武道大會

日華學徒交驩會

神饌田拔穗式

花蓮港市嚴修

敎育功勞者表彰

淡水中學創立五周年記念式

皇軍感謝慰問資金寄附

國府、印度假政府を承認

企業整備促進

花蓮港廳の共助會發會

局バス東部 線時刻變更

【明朝の番組】

後三國志 (242)

(出師の卷)

吉川英治 作

矢野橋村 畫

篇外餘錄

後蜀三十年 (四)

謹啓 戰時下御公私共ニ御多端ノ折柄皆樣益々御健勝被爲在候段奉賀候

喜樂園 三谷芳太郎 男女從業員一同

强力リベール 錠